

須恵中学校出身 黒川雄大選手 全日本学生剣道選手権大会で活躍



令和3年12月4日（土）、大学日本一の選手を決める大会で、筑波大学3年の黒川 雄大選手（須恵中学校出身）が見事優勝を飾りました。男子176人が出場した個人トーナメントで、黒川選手は序盤戦から延長戦となる接戦を勝ち抜き、決勝は対戦相手に面を決めて1本勝ちしました。

※写真はイメージです

須恵東中学校出身 片山雄貴投手 都市対抗野球大会で活躍



令和3年12月9日（木）、全国の社会人野球チームが地域の代表としてアマチュア野球日本一の座を競う都市対抗野球大会が開催され、Honda 熊本硬式野球部が、見事準優勝を飾りました。また準優勝の立役者である片山 雄貴投手（須恵東中学校出身）が、準優勝チームから1人選出される久慈賞を受賞しました。

優勝した瞬間、喜びというよりも「やっと勝てた」という、ほっとした気持ちの方が強かったように思います。脳裏に浮かんだのは、「須恵の道場で初めて竹刀を握った小学1年」、「朝練で健康広場を走った中学時代」、「稽古の厳しさに何度も須恵に逃げて帰ろうと思った高校時代」、「猛者が集まる筑波で自己の未熟さを痛感した大学入学時」などでした。

コロナ禍で目標を失い、挫折しそうになったこともありましたが、須恵の後輩たちの頑張りに見せられ、私も負けられない気持ちで試合に臨んだことが良い結果に繋がったと思います。

優勝した心境



黒川 雄大 選手

準優勝した心境



片山 雄貴 投手

野球人生で初めての個人タイトルだったので嬉しいですが、自分がコツコツ考え実行してきたことが形になったと思います。まだまだ満足はしていないので、ここからさらにレベルアップしていきたいです。

久慈賞の受賞を振り返って

野球人生で初めて、全試合1点差のゲームで緊迫していたのでホッとしている気持ちもあります。準優勝していろいろな方々から喜びの声などいただけて改めて多くの人に応援してもらって支えられているなと感じました。今年も優勝したいです。

アマチュア最高峰と言われる都市対抗野球大会で19年ぶりの準優勝は素直に嬉しいです。

初戦から決勝まで、全試合1点差のゲームで緊迫していたのでホッとしている気持ちもあります。準優勝していろいろな方々から喜びの声などいただけて改めて多くの人に応援してもらって支えられているなと感じました。今年も優勝したいです。

今後の目標

まず、昨年達成できなかった日本一と、個人では社会人年間のベストナイン、社会人JAPAN（日本代表）を目指したいと思います。須恵町に少しでもいい風を吹かせられるように頑張ります。

片山雄貴投手の紹介

- 好きな食べ物 オムライス
- 須恵町での思い出 駅伝大会
- 幼稚園 須恵東幼稚園
- 小学校 須恵第二小学校
- 中学校 須恵東中学校
- 高校 福岡工業大学附属 城東高等学校
- 大学 駒澤大学

都市対抗野球大会とは

昭和初期、野球は中等学校（現在の高校）、東京八大学野球が人気を集めており、プロ野球すら発足していませんでした。かつて中等学校や大学野球の花形だった選手のプレーをもう一度見る場として、米国の大リーグのように都市を基盤とした実業団野球を開催するのが始まりです。

久慈賞とは

故・久慈次郎氏の闘志あふれるプレーを称え、第18回大会から設けられた敢闘賞です。

今後の目標

昨年は団体戦では負けて悔しい思いをしています。今年は4年生となり学生最後の年ですので、団体も個人も優勝をして大学日本一になりたいと思います。また、昨年初めて出場させていただきました「全日本剣道選手権」も、優勝を目指して稽古に励みたいと思います。

まずは激戦の予選突破が条件ですので、初心に戻り、私を支えてくださっているすべての皆さまへの感謝の気持ちを忘れずに精進していきます。

全日本学生剣道選手権大会とは

学生剣道の個人日本一を争う大会で、今回が第69回目の大会となります。

北海道地区、東北地区、北信越地区、関東地区、東海地区、関西地区、中国・四国地区、九州地区の予選を勝ち抜いた男子176人で争われました。